

3. 事業の内容等

(1) 事業の概要

専門職業人たる歯科医師の養成と歯科医療・歯学の発展を担う研究者等の養成を担う大学の歯学教育の質の保証と向上を図る観点から、国内外事例の収集と関係大学の意見聴取を踏まえ、第3者評価の基準モデル等を提示し、第3者評価システムの導入のための基盤となる調査研究を行う。

(2) 事業の内容

(趣旨)

歯科大学や大学歯学部における歯学教育は、歯科医師国家試験の受験資格要件として、修了者の8割近くが歯科医師となる専門職業人養成課程であるとともに、歯科医療・歯学の発展を担う研究者等の養成をも併せ担っている。

歯学教育を巡っては、詰め込みや記憶偏った教育、個々の教員の専門や関心に偏った内容などの弊害が叫ばれ、平成13年の文部科学省の医学・歯学教育の在り方に関する調査研究協力者会議報告によるモデル・コア・カリキュラムの作成をはじめ、診療参加型の臨床実習の充実のため実習前の学生の能力を評価する共用試験の導入、平成18年からの歯科医師臨床研修の必修化などの方策が進められている。

しかしながら、歯科大学や歯学部卒業生の知識や技能には、以前として大学間や個人間で格差があると指摘され、また、大学全入時代を迎える中、入試による学生の選抜機能が低下し、入学生の質の低下が懸念される。さらに、歯科医療の需給の見通しから歯科医師の過剰は一層ますことが想定される中、歯科大学・歯学部の定員の削減が求められている。

こうした状況の中、文部科学省は平成19年度に、モデル・コア・カリキュラム改訂に関する恒常的な検討組織を設置するなど、さらなる歯学教育改革のための検討に着手しており、歯科医師養成期間として将来の歯科医療の質に直結する歯学教育の質の保証は待ったなしの課題である。

本調査研究は、こうした背景を踏まえ、歯学教育の質の保証と向上のための第3者評価の導入について、国内外事例の収集と関係大学の意見聴取を踏まえ、第3者評価の基準モデル等を提示し、第3者評価システムの導入のための基盤となる調査研究を行うものである。

(検討方法)

東京医科歯科大学歯学教育システム研究センターを中心に、東京医科歯科大学教育関係者からなる研究推進委員会を設置し、専門的かつ広範な意見を集約して行う。

検討に当たっては、国内外事例の情報を収集・分析する。特に欧州歯科医学教育学会の DENTED ネットワーク、全米歯科医学教育学会のアクレディテーション等について直接現地視察を行ってその最新動向を収集・分析する。さらに、国内各歯科大学・大学歯学部 of 自己点検・評価や教育事情などをアンケート調査とシラバス分析により把握する。その上で、モデル・コア・カリキュラムの導入や共用試験の結果等を活用するとともに、シンポジウムを開催し、関係大学や歯学教育関係者からの意見を聴取しながら、各大学の教育目標を踏まえた教育課程、教育組織、成績評価などの教育活動を評価する項目や基準のモデルを検討し、評価方法および実施体制などを含めた第 3 者評価システムの導入のための基礎的な提案を行う。

(事業の実施計画)

1. 研究推進委員会設置

2. 海外調査

(1) シンガポール、オーストラリア

目的: SEADE 圏内における大学として、国内唯一の歯学部という状況のシンガポール国立大学歯学部、Singapore Dental Council の調査およびアジア／太平洋地域において、1 国内に複数の大学を持ち、既に大学評価を実施しているオーストラリアの歯学部および Australia Dental Council への調査。

(2) アメリカ

目的: ADA 圏内、1 国内に 50 以上の歯学部プログラムを有する米国において、既に実施されている大学評価の現地調査。大学評価実施機関である Commission on Dental Accreditation (Coda) への調査および、本年度に大学評価を実施された大学への調査、過去に調査を実施され、その改善をおこなった結果を持つ大学への調査。

(3) イギリス、オランダ

目的: ADEE 圏内、EU において、特に教育改革の中心となっている英国における大学評価の実際の調査および実施機関である General Dental Council (GDC)、および、大陸側として、やはり教育改革の中心として活動が盛んなオ

ランダ（５年制から６年生への変更）の大学調査。

（４）中国

目的：８年制口腔医学院の北京大学口腔医学院における歯学教育、特に臨床実習および歯学教育における医学教育の実情を調査。

（５）タイ

目的：アセアン諸国の中で歯学教育の最も充実しているといわれるタイにおける歯学教育の現況と大学評価について、チュラロンコン大学歯学部とタイデンタルカウンシルを調査。

４．国内大学のシラバス調査、教育アンケート調査

国内歯科大学・大学歯学部の最新シラバスの調査と分析を行う。特にモデル・コア・カリキュラムに準じた教育内容が実施されているか、いわゆる教養科目カリキュラムが実施されているか、大学独自の特徴あるカリキュラムが導入されているか、知識・態度・技術教育が偏重無くバランスと連携がとれた教育カリキュラムが構築されているか、診療参加型臨床実習が実施されているか、自大学内で卒業時の到達度の設定と確認を行うシステムが構築されているのか等を調査・分析する。

５．シンポジウムの開催

タイトル：「歯科医学教育のさらなる発展－２０２５年の歯科医師像を求めて」

日時：平成２１年３月１９日（木）１３：００－１７：００

場所：東京医科歯科大学歯学部特別講堂

講演者

- １． 江藤一洋（東京医科歯科大学名誉教授）
- ２． 荒木孝二（東京医科歯科大学医歯学教育システム研究センター 教授）
- ３． 田上順次（東京医科歯科大学）
- ４． 神原正樹（大阪歯科大学教授）
- ５． 栗原英見（広島大学大学院医歯薬学総合研究科 教授）
- ６． 菊谷 武（日本歯科大学生命歯学部）
- ７． 佐々木啓一（東北大学大学院歯学研究科 教授）